

第 53 回 有機金属化学討論会

共催 日本化学会 近畿化学協会有機金属部会
日本薬学会

協賛 有機合成化学協会

会期 9月8日(金)～9日(土)

会場 大阪市立大学杉本キャンパス
(大阪市住吉区杉本3-3-138)

交通 (1)JR阪和線「杉本町(大阪市立大学前)」駅下車、東へ徒歩約5分、(2)地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、4号出口より南西へ徒歩約20分

参加登録予約申込締切 8月9日(水)

予稿集発行日 8月24日(木)

発表形式 口頭発表：講演 17分・討論 7分、
ポスター・ショートトーク：
10時15分～12時22分・講演 1分50秒、
ポスター発表：12時30分～14時00分

A会場 (全学共通教育棟811号室)

PA会場 (学術総合情報センター10階大会議場)

[有機金属化合物の合成・反応・構造・機能]

第1日目 [9月8日(金)]

座長 飛田 博実 (9:00～10:15)

A101 sp^2 ケイ素上に水素を有する安定な低配位有機ケイ素化合物の合成(京大化研) ○笹森 貴裕・杉山 佑介・尾崎 修平・時任 宣博

A102 ケイ素-ケイ素 π 単結合(群馬大院工・群馬大工) ○久新 莊一郎・黒崎 美邦・松本 直純・松本 英之・京免 徹・花屋 実・工藤 貴子

A103 ジシレンリチウムの合成、構造及び反応性(筑波大院数理) ○井上 茂義・一戸 雅聡・関口 章

ポスター・ショートトーク (10:15～11:20)

座長 大下 浄治 (10:15～10:52)

座長 真島 和志 (10:52～11:20)

ポスター発表 (12:30～14:00)

PA101 光学活性ホウ素化合物の合成とその反応性の研究(千葉大理) ○柳澤 悠子・碓 怜・吉岡 杏子・今本 恒雄

PA102 (2-ボリルフェニル)ヒドロシランとアルコール類およびアミン類との脱水素縮合反応(広大院理) 河内 敦・○財間 政智・谷 厚志・山本 陽介

PA103 5-ホスファラトランおよび5-ホスファボラトランの合成、構造、および反応性(東大院理) ○小林 潤司・霜山 達也・川島 隆幸

PA104 白金0価錯体と1,2-ジヒドロジシランとの反応(学習院大理) ○南条 真佐人・野田 明希・永野 元彬・碓井 洋子・持田 邦夫

PA105 ケイ素および硫黄で架橋されたジスチリルベンゼンの合成と物性(名大院理・SORST) ○毛利 和弘・梶原 隆史・若宮 淳志・山口 茂弘

PA106 速度論的に安定化された含ケイ素芳香族化合物の還元反応(京大化研) ○松本 剛・笹森 貴裕・時任 宣博

PA107 安定なトリシラアレンから誘導される新規なシラケテンイミン(東北大院理) ○阿部 剛・岩本 武明・甲 千寿子・吉良 満夫

PA108 ジシラニリデン錯体とジシレン錯体間の異性化反応機構(東北大院理) ○鈴木 克規・瀬高 渉・甲 千寿子・吉良 満夫

PA109 かさ高いシリル基を有するフェニルアセチレンの還元と14族元素メタラサイクルへの展開(埼玉大院理工) 齋藤 雅一・○中村 総夫

PA110 シラシクロヘキセンの熱異性化反応(倉敷芸科大) ○上田 晋輔・仲 章伸・大下 浄・九内 淳堯・小林 久芳・吉澤 一成・石川 満夫

PA111 ジシリンの反応性：安定なジシリンアニオンラジカル種の合成と構造(筑波大院数理) ○金城 玲・一戸 雅聡・関口 章

PA112 初めてのトリメタラビシクロ[1.1.0]ブタン：その特異な構造及び反応性(筑波大院数理) ○安田 浩之・リー ウラディミール、ヤー・関口 章

PA113 トリス(トリメチルシリル)シリル基置換アントラセンの構造と物性(京大院工) 清水 正毅・○織田 勝成・坂東 智明・檜山 爲次郎

PA114 テトラフェニル及びテトラエチルスタンノールジアニオンの酸化反応(埼玉大院理工・分子研) ○齋藤 雅一・芳賀 隆太・神林 千佳・田嶋 智之・吉岡 道和・石村 和也・永瀬 茂

PA115 テトラメチルスズを用いた低エネルギーイオンビーム誘起 CVD 法による酸化スズ膜の形成(奈良女大理・産総研) ○竹内 孝江・藤川 友佳・松谷 貴臣

PA116 ガリウム架橋鉄二核錯体と RLi , HCl , PR_3 及び RNC との反応(群馬大工) ○本橋 秀晃・村岡 貴子・廣津 昌和・上野 圭司

PA117 有機希土類錯体によるアミンまたはホスフィン化合物のカルボジイミドへの触媒的付加反応(理研) ○張 文雄・西浦 正芳・侯 召民

PA118 希土類ナノ粒子の合成およびハロゲン化アルキルの還元反応への応用(阪府大院工) 野元 昭宏・○木戸 敦士・小川 昭弥

PA119 アミノピロール配位子を有する4族金属モノアルキル錯体の合成とオレフィン重合触媒作用(阪大院基礎工) ○安本 考広・山縣 恒明・真島 和志

PA120 Tripod型メタロリガンドとして機能する tris-ホスフィノアミド Zr 錯体を用いた新規 ELHB 錯体の開発(九大先導研・九大院総理工) ○砂田 祐輔・末 隆志・永島 英夫

PA121 二座フェノキシド配位子の脱水素化によるメタラサイクル構造を持つタンタルカルベン錯体の形成(分子研) ○渡辺 孝仁・松尾 司・川口 博之

PA122 クロロシラン触媒によるホスファイトモリブデン錯体の異性化反応(阪市大院理) ○福本 晃造・中沢 浩

PA123 2座の含窒素環状カルベン配位子を有する6族遷移金属錯体の合成、構造および反応性(横浜国大院工) 緒方 賢一・○山口 佳隆・伊藤 卓・栗原 庸次・上田 一義

PA124 直鎖四座ホスフィン配位子を有するモリブデンおよびタングステンN-置換イミド錯体の合成と反応(東大生研) ○渡部 大輔・清野 秀岳・溝部 裕司

PA125 タングステンシリレンビニル及びシラアリアル錯体構造と結合性に関する理論的研究(京大院工) ○モウ シュミー レイ・中尾 嘉秀・佐藤 啓文・榊 茂好

- PA126 直線状 $\text{Mo(II)}_2\text{Ir(I)}_2$ 四核錯体の合成とその反応性 (阪大院基礎工) ○島 明日香・大橋 理人・山縣 恒明・大嶋 孝志・真島 和志
- PA127 新規光学活性フェロセニル-ホスフィン配位子の合成と不斉反応への応用 (中大院理工) ○山本 真久・保坂 光輝・菊地 哲・福澤 信一
- PA128 $\text{FeCp}^*(\text{dppe})$ フラグメントを含む機能性分子ワイヤーの合成とその物性 (東工大資源研) ○田中 裕也・稲垣 昭子・穂田 宗隆
- PA129 ハロアセチレンおよびジハロアセチレンが配位した四鉄クラスターの合成と求核剤に対する反応性 (京大化研) ○吉村 健一・上平 晃聖・高野 正人・岡崎 雅明・小澤 文幸
- PA130 クロスメタセシス反応を用いる含フェロセン[2]ロタキサンの合成 (東工大資源研) ○須崎 裕司・小坂田 耕太郎
- PA131 面不斉よりドミノ型に誘起されたオリゴベンズアミドのらせん不斉制御 (阪大院理) 神川 憲・○福本 圭介・吉原 耕平・竹本 真・松坂 裕之・植村 元一
- PA132 [60]フラレーン上に構築された 48π 電子共役系の合成と構造研究 (東大院理) ○藤田 健志・松尾 豊・中村 栄一
- PA133 置換シリルメチル[60]フラレーン金属錯体の合成 (ERATO 中村活性炭素クラスタープロジェクト) ○中江 隆博・松尾 豊・中村 栄一
- PA134 シクロトリホスフィマト配位子を持つ Ru メタノール錯体の合成と置換反応 (中大理工) ○飯田 琢也・金尾 啓一郎・上村 聡・田辺 資明・石井 洋一
- PA135 ヒドリド(ヒドロシリレン)ルテニウム錯体の合成、構造およびそのニトリルとケトンとの反応 (東北大院理) ○落合 光良・橋本 久子・飛田 博実
- PA136 不飽和化合物で架橋された 2 核ルテノセン誘導体の酸化還元挙動とそれらの 2 電子酸化体における構造異性化 (埼玉大理・山形大理) ○佐藤 勝・藤原 隆司・鶴浦 啓

座長 武田 亘弘 (14:10~15:00)

- A104 4-シラトリアフルベンと炭素求電子剤との反応 (東北大院理) ○坂本 健吉・今 喜裕・土田 和弘・甲 千寿子・吉良 満夫
- A105 新規アニオン性ホウ素求核種ポリルリチウムの合成と構造、反応及び遷移金属ポリル錯体合成への応用 (東大院工) 瀬川 泰知・○山下 誠・野崎 京子

座長 野村 琴広 (15:05~15:55)

- A106 希土類ポリヒドリド錯体による一酸化炭素の還元反応 選択的エチレン生成および希土類ポリオキソ錯体の創製 (理研) ○島 隆則・侯 召民
- A107 希土類錯体触媒の高次構造化: 触媒的不斉 Strecker 反応におけるエナンチオ選択性の逆転 (東大院薬) ○美多 剛・加藤 信樹・金井 求・柴崎 正勝

座長 小澤 文幸 (16:00~17:15)

- A108 ジルコニウムボラン錯体を触媒とするヒドロシランを用いた二酸化炭素からメタンへの変換 (分子研) ○松尾 司・川口 博之
- A109 有機バナジウム錯体の合成とその反応性 (奈良先端大物質) ○山田 純司・藤木 道也・野村 琴広
- A110 ヶケギン型バナジウム 2 置換ポリオキソタンゲストレート触媒による過酸化水素を酸化剤としたオレフィンエポキシ化反応 (東大院工・JST) ○中川 善直・鎌田 慶吾・小谷 美友紀・山口 和也・水野 哲孝

座長 穂田 宗隆 (17:20~18:35)

- A111 η^3 -1-シラプロパルギルモリブデン錯体の合成、構造および反応 (東北大院理) ○吉田 真炎・坂場 裕之・甲 千寿子・甲 國信
- A112 液晶性鉄-フラレーン錯体の合成と電気化学研究 (ERATO 中村活性炭素クラスタープロジェクト) ○松尾 豊・村松 彩子・上川 裕子・加藤 隆史・中村 栄一
- A113 鉄錯体を触媒とするニトリル源としてのアセトニトリルの活用 (阪市大院理) ○板崎 真澄・鎌田 幸司・植田 兼助・中沢 浩

第2日目 [9月9日(土)]

座長 永島 英夫 (9:00~10:15)

- A201 ニトロシルルテニウムフラグメントを有する四員環メタラサイクル錯体への HCl 付加反応 (長崎大工) ○有川 康弘・池田 健太・浅山 大樹・西村 佳真・大西 正義
- A202 カリックス[4]アレーン Ru,Rh 錯体における自己包接現象 (中央大理工) ○石井 洋一・小野崎 真治・藤本 浩介・井崎 恵介・小川 秋水・近藤 綾乃・田辺 資明
- A203 Ru または Ir と 10 族金属を含む混合金属イミドクラスターの合成・構造・反応性 (阪府大院理) ○竹本 真・楊 為国・森田 英伸・神川 憲・松坂 裕之

ポスター・ショートトーク (10:15~11:24)

座長 生越 専介 (10:15~10:52)

座長 平野 雅文 (10:52~11:24)

ポスター発表 (12:30~14:00)

- PA201 ジベンゾチオフェン誘導体とカルボニル錯体の反応 (阪市大院理) ○渋谷 麻友子・廣津 昌和・西岡 孝訓・木下 勇
- PA202 三重架橋ビニリデン中間体を經由した三核ルテニウム垂直配位型アルキン錯体の骨格変換反応 (東工大院理工) ○天神林 隆一・高尾 俊郎・鈴木 寛治
- PA203 ポリヒドリドクラスターによるアンモニアの N-H 結合の切断 (東工大院理工) ○亀尾 肇・中島 裕美子・鈴木 寛治
- PA204 ルテニウムポリヒドリドクラスターによるピリジン類の触媒的カップリング反応 (東工大院理工) ○川島 敬史・高尾 俊郎・鈴木 寛治
- PA205 ルテニウムニトロシル錯体上のアルキン配位子への付加反応 (東工大院理工) ○大内 亮・桑田 繁樹・碓屋 隆雄
- PA206 硫黄架橋ルテニウム-ゲルマニウム複核錯体による水素分子および一酸化炭素の活性化 (名大院理・名大物質国際研) ○松本 剛・板倉 直久・中谷 祐希子・巽 和行
- PA207 直鎖状ペンタピロール型配位子を有する螺旋構造を有する新規コバルト錯体の合成 (静岡大理工) ○矢入 健・近藤 満
- PA208 コバルタジチオレン錯体を有するシクロメタリ化されたイリジウムと白金錯体の合成と特性 (上智大理工) ○寺田 航介・稲葉 絵里・南部 達郎・野村 光城・藤田 千佳子・杉山 徹・横山 保夫・梶谷 正次
- PA209 ジホスフィニデンシクロブテン配位子(DPCB)を有するヒドロキソ架橋ロジウム二核錯体の合成と反応 (京大化研) ○林 昭人・武藤 雄一郎・岡崎 雅明・小澤 文幸

PA210 ロジウム錯体によるアミン存在下 1-アルキンのヒドロボリル化反応に関する理論的研究 (京大院工) ○杉山 昭博・蔵本 有紀・中尾 嘉秀・佐藤 啓文・宮浦 憲夫・榊 茂好

PA211 イソコロール金属錯体の合成と構造及び反応挙動 (神戸大院理) ○塚島 亜希・瀬恒 潤一郎

PA212 複素芳香環シクロオリゴマーを配位子とする複核金属錯体の合成と性質 (神大院理) ○渡辺 恵悟・瀬恒 潤一郎

PA213 一級アミノ基を有するC-NキレートIr/Rh/Ru錯体の合成と反応性 (東工大大院理工) ○有田 幸子・小池 隆司・碓屋 隆雄

PA214 イリジウム触媒によるアリルアルコールを用いたアリル化反応-COとの相互作用を経る新しい活性化法 (東工大資源研) デュブス クリスチャン・山本 俊樹・稲垣 昭子・○穂田 宗隆

PA215 pH 依存発光特性を有する水溶性イリジウム錯体の合成 (阪大院理) ○小西 孝治・山口 浩靖・原田 明

PA216 トリス (2-ピリジルチオ) メタンニッケル錯体の合成 (阪市大院理・阪市大院工) ○北野 健一・田中 里佳・宮本 利一・廣津 昌和・西岡 孝訓・木下 勇

PA217 Ni(0)上でのアルキンとイミンの酸化的環化 (阪大院工) 生越 専介・○池田 陽雄・黒沢 英夫

PA218 ニッケル錯体によるアルキンのアリアルシアノ化反応に関する理論的研究 (京大院工) ○大西 裕也・中尾 嘉秀・佐藤 啓文・中尾 佳亮・檜山 爲次郎・榊 茂好

PA219 Ni(0)上でのアルキンとカルボニル化合物の酸化的環化 (阪大院工) ○新居 知哉・生越 専介・黒沢 英夫

PA220 N-ヘテロ環状カルベン配位子を持つニッケル錯体の合成と触媒的交差カップリング反応 (福岡大理) ○松原 公紀・上野 景太

PA221 一次元複核パラジウムゼロ価錯体の合成 (阪大院工) ○辰巳 泰基・岡田 みつ江・村橋 哲郎・生越 専介・黒沢 英夫

PA222 嵩高い bowl 型カルベン配位子を有するPd(0)錯体とO₂, CO₂との反応 (東大院理) ○杉浦 麻梨子・山下 誠・後藤 敬・川島 隆幸

PA223 ヒドロキシドアニオンにより促進される水溶性η³-アリルパラジウム(II)錯体の反応性 (東農工大院工) ○佐古 明理・石川 弘樹・小峰 伸之・平野 雅文・小宮 三四郎

PA224 Pd(0)錯体を触媒とするヒドリド遷移金属結合へのアルケンまたはアルキンの挿入反応 (東農工大院工) 小峰 伸之・蔵本 絢子・○中西 講平・平野 雅文・小宮 三四郎

PA225 ベンジル位ヘテロ原子置換基をもつ芳香族ホスファルケンのアルコキシパラデーションによるホスファラダシクロプロパンの立体選択的合成 (阪市大院工) 南 達哉・○山崎 淳司・猪谷 圭範・畠中 康夫

PA226 白金ヒドリド錯体における分子内ケイ素-炭素結合活性化反応 (京大化研) ○河井 昌裕・武田 亘弘・時任 宣博

PA227 ジホスフィニデンシクロブテン配位子を用いた拡張π共役系白金(0)錯体の合成と性質 (京大化研・東北大院理) ○林 恭平・中谷 充晴・岡崎 雅明・小澤 文幸・中村 光武・川崎 統・豊田 耕三・吉藤 正明

PA228 パラジウムおよび白金二核錯体の混合系における有機流体の音響応答性ゲル化 (阪大院基礎工) ○飯田 将行・村岡 貴子・直田 健

PA229 Cl-Pt-S 骨格を有する錯体の合成とアルキン類との反応 (阪大院工) ○山下 史一・国安 均・神戸 宣明

PA230 μ-η¹, η²-クロチル白金-コバルトヘテロ二核錯体のE体優先的選元的脱離反応 (東農工大院工) ○廣田 卓麻・小峰 伸之・平野 雅文・小宮 三四郎

PA231 トリポッド配位した有機金属銅(II)の特異的振る舞い (阪市大院理) ○木下 勇・宮本 利一

PA232 銅(I)-アレーン相互作用の定量的評価 (阪市大院理) ○伊東 忍・大迫 隆男・国下 敦史・舘 祥光

PA233 発光性金(I)-テトラポッド型イソシアニド錯体の合成 (北大理) ○伊藤 肇・大島 直哉・澤村 正也

PA234 ホスファルケンを配位子とする金(I)錯体の合成・構造・触媒活性 (東北大院理) ライターク マティアス・○伊藤 繁和・吉藤 正明

PA235 構造の明確な温度応答性ポリマーで安定化された金ナノクラスターの合成および触媒作用 (分子研・阪大院理) ○櫻井 英博・角山 寛規・佃 達哉・福山 由希子・矢木 直人・金岡 鍾局・青島 貞人

PA236 水銀トリフラートをを用いた触媒反応の開発 (徳島文理大薬) ○山本 博文・浅井 由弥子・家永 友昭・栗崎 貴啓・木下 貴至・今川 洋・西沢 麦夫

座長 石井 洋一 (14:10~15:00)

A204 ビスオキサゾリニルフェニル-ロジウム錯体による炭素-炭素結合生成反応 (名大院工) ○伊藤 淳一・宮川 剛志・西山 久雄

A205 トリアルキニルホスフィン-金触媒によるアルキン環化反応 (北大理) 落田 温子・伊藤 英人・○澤村 正也

座長 直田 健 (15:05~15:55)

A206 アセチル CoA 合成酵素の活性中心モデルとなるニッケル複核錯体 (名大院理) ○伊藤 幹直・松本 剛・巽 和行

A207 シリル又はゲルミル基を橋架け分子とする多核パラジウム及び白金多核錯体 (東工大資源研) ○田邊 真・石川 尚子・伊藤 大輔・山田 哲行・小坂田 耕太郎

座長 松坂 裕之 (16:00~17:15)

A208 自己組織化錯体空間が触媒する特異な Diels-Alder 反応 (東大院工・CREST) ○吉沢 道人・田村 正・藤田 誠

A209 π共役系高分子-金属ナノ粒子の合成と触媒機能 (阪大院工) ○雨夜 徹・齋尾 大輔・平尾 俊一

A210 メタル化ペプチドの合成および自己組織化 (阪大院基礎工) ○磯崎 勝弘・高谷 光・直田 健

B会場 (全学共通教育棟810号室)

PB会場 (学術総合情報センター10階大会議場)

[有機金属化合物を用いた有機合成]

第1日目 [9月8日(金)]

座長 柳 日馨 (9:00~10:15)

B101 Ni触媒を用いた有機亜鉛、アルキン、ジエン、アルデヒド、アミンの多成分連結反応 (長崎大院生産科学・長崎大工) ○木村 正成・向井 奈穂子・龍山 恭・上田 理・田丸 良直

B102 0価パラジウム触媒を用いたアルキナール類のアンチWacker型環化反応 (東北大院薬) ○塚本 裕一・上野 達彦・根東 義則

B103 π -アリルパラジウム触媒を用いるハロゲン化アルキルとグリニャール試薬とのクロスカップリング反応 (阪大院工) ○内藤 吉孝・大槻 和孝・寺尾 潤・神戸 宣明

ポスター・ショートトーク (10:15~12:16)

座長 桑野 良一 (10:15~11:20)

座長 芝田 育也 (11:20~12:16)

ポスター発表 (12:30~14:00)

PB101 ニッケル/亜鉛触媒系によるエンインの環化異性化 (名市大院薬) ○池田 慎一・鈴木 賀央里・大門 奈津子・佐貫 麗子・小田嶋 和徳

PB102 ニッケル触媒存在下における電子欠乏性メチレンシクロプロパンと2種類のアルキンを用いた3成分[3+2+2]型環化付加反応 (東理大理) ○駒川 晋輔・斎藤 慎一

PB103 オキサニッケラサイクルを介する可逆的炭素-炭素結合形成反応と切断反応 (長崎大院生産科学・長崎大工) ○森 将彦・関 佐和子・木村 正成・田丸 良直

PB104 新規光学活性 N,N,N 型三座配位子の合成、及び β ケトエステル類の触媒的不斉フッ素化反応への適用 (豊橋技科大工) ○柴富 一孝・都筑 裕也・中田 慎一・澄川 裕輔・岩佐 精二

PB105 ニッケル触媒によるホウ素-炭素結合活性化: アルキニルボランのアルキンへの付加反応 (京大院工) 杉野目 道紀・○白倉 将道・山本 暁彦

PB106 パラジウム触媒存在下でのレトロアリル化を利用したホモアリルアルコールによるハロゲン化アリールの立体及び位置特異的アリル化反応 (京大院工) ○林 沙悠梨・岩崎 真之・平野 康次・依光 英樹・大島 幸一郎

PB107 Pd(II)/HPMoV/CeCl₃/O₂ 系によるアクリレートの酸化的環化三量化反応、および、アクリレートとアルデヒドのカップリング反応 (関西大工) ○玉祖 健一・畑本 祐治・坂口 聡・大洞 康嗣・石井 康敬

PB108 遷移金属触媒による P(O)-H 結合へのイソシアニドの挿入反応 (産総研) ○平井 孝佳・韓 立彪

PB109 Pd触媒を用いたアリルアルコールによるアルドイミンの双極的アリル化反応 (長崎大院生産科学・長崎大工) ○玉城 卓人・瀬口 哲哉・木村 正成・田丸 良直

PB110 ヒドラゾン-Pd 触媒を用いたアリール (トリアルコキシ) シランと臭化アリールのカップリング反応 (千葉大工) 三野 孝・○白江 良章・坂本 昌巳・藤田 力

PB111 水中機能性レジン担持 Pd 触媒を用いた水中でのニトロメタンを求核剤とするクロスカップリング反応 (分子研) ○鈴鹿 俊雅・魚住 泰広

PB112 硫黄終端ガリウムヒ素(001)担持型有機パラジウム触媒の開発 (北大院薬・物材機構・東大生産研・千葉大院薬) ○有澤 光弘・濱田 昌弘・高宮 郁子・下田 正・塚本 史郎・荒川 泰彦・西田 篤司

PB113 ブロモチオフェンの C-H 結合アリル化反応の錯体化学的考察 (神戸大工・東工大資源研) ○杉江 敦司・小林 佳・須崎 裕司・小坂田 耕太郎・森 敦紀

PB114 パラジウム錯体による官能基を有する α,ω -ジエン類と α -オレフィンとの環化共重合: 重合反応の制御および重合機構の解明 (東工大資源研) ○朴 世訓・竹内 大介・小坂田 耕太郎

PB115 Pd(II)-Cu(II)-カテコール触媒を用いるアリルアルコール類のビニルエーテルへの付加・環化反応 (高知大院工) 川村 泰史・○山中 大雪・細川 隆弘

PB116 ホウ素のマスクングを利用した芳香族オリゴマーの反復クロスカップリング合成 (京大院工) 杉野目 道紀・○野口 宙幹・北條 浩章

PB117 パラジウム触媒を用いるノルボルネン類の不斉ヒドロホスホリル化 (産総研) ○韓 立彪・徐 清

PB118 白金触媒を用いるアラインのジボリル化反応 (広島大院工) 吉田 拓人・○岡田 賢悟・大下 浄治・丸内 淳亮

PB119 スピロ型 P-H 化合物によるアルキンのヒドロホスホリル化: α -付加物の高選択的発生 (産総研) ○小野 豊・島田 茂・韓 立彪

PB120 イソキサゾリン/イソキサゾール環を有する新規キラルスピロ配位子の不斉パラジウム触媒反応への応用 (阪大産研) ○バジラチャルヤ ガン・プリティー コランナ・笹井 宏明

PB121 二核パラジウム錯体触媒を用いた鈴木宮浦カップリング反応における特異性 (東北大院工) ○塚田 直史・阿部 翼・井上 祥雄

PB122 N,N -二座配位パラジウム錯体を用いた触媒的カップリング反応 (神戸大理) ○羽根田 聡・甘 智斌・枝 和男・林 昌彦

PB123 光学活性フェロセン配位子とパラジウムによるアリールボロン酸の1,2-及び1,4-付加反応 (同志社大院工) ○鈴間 喜教・飯塚 美智子・太田 哲男・伊藤 嘉彦

PB124 P-キラルジホスフィン配位子/遷移金属錯体触媒による不斉アリル位置換反応および不斉ヒドロシリル化 (千葉大理) ○西村 三和子・伊藤 拓馬・成井 倫太郎・吉田 和弘・今本 恒雄

PB125 還元型ビオロゲンを電子プールとするハロゲン化アリールのホモカップリング反応 (岡山大院工) ○小林 良人・黒星 学・田中 秀雄

PB126 ホスフィン-スルホナート二座配位子を有するパラジウム錯体を用いた線状ポリオレフィンの合成 (東大院工) 河内 卓彌・○野田 周祐・吉村 賢治・野崎 京子

PB127 Pd触媒を用いる塩化トリフロロアセトイミドイルの分子内環化反応: フッ素化キノリンの合成 (岡山大工) ○磯部 輝・高城 淳・宇根山 健治

PB128 パラジウムナノクラスターの触媒する光学活性ハロノルボルネン誘導体の *syn* 選択的環化三量化 (分子研) ○東林 修平・櫻井 英博

PB129 パラジウム触媒による含フッ素アリルエステルの位置選択的アリルアルキル化反応 (鳥取大工) ○和田 祥平・早瀬 修一・川面 基・伊藤 敏幸

PB130 均一系および固相担持型不均一系パラジウム触媒を併用した One-Pot インドール誘導体の合成 (奈良先端大物質) 堤 健・○酒井 隼人・森本 積・垣内 喜代三

PB131 非対称光学活性ビオキサゾリン由来カルベン配位子を用いたパラジウム触媒による不斉オキシインドール合成 (同志社大院工) ○今尾 太輔・江端 成仁・山口 由起・新谷 隆・藤田 充・太田 哲男・伊藤 嘉彦

PB132 立体的に固定された(Z)-シリル(スタンニル)エテン類の効率的合成とそれらのプロト脱スタンニル化 (東海大開発工) ○佐々木 文雄・遠藤 崇訓・中野 多一

PB133 キラルパラジウム触媒による対称型アリル配位子の非対称化に基づく双環状アリル化合物のエナンチオ選択的反応について (早大院理工) ○小川 竜平・重森 雄介・上原 孝一・佐野 二郎・中島 隆行・清水 功雄

- PB134 パラジウム触媒を用いた軸不斉環状アレンの合成 (北大触セ・SORST・愛教大) 小笠原 正道・岡田 敦・中島 清彦・高橋 保
- PB135 塩化アリールの鈴木-宮浦カップリングにおける半球型ホスフィン配位子の効果 (京大院工・北大院理・北大触セ) 〇太田 英俊・徳永 信・大洞 康嗣・藤原 哲晶・辻 康之
- PB136 分子状酸素のみを再酸化剤とした塩化パラジウム触媒による末端オレフィンの位置選択的酸素化反応 (阪大院基礎工) 〇満留 敬人・能勢 謙太・水垣 共雄・海老谷 幸喜・実川 浩一郎・金田 清臣
- PB137 パラジウム触媒を用いたヒドリド転位型二置換アレン合成 (学習院大理) 〇中村 浩之・石倉 誠・杉石 露佳
- PB138 白金触媒によるビニルシランの β 位での求核付加反応 (筑波大院数理・大学評価 学位授与機構) 〇三浦 勝清・井上 玄・泉 寛之・細見 彰
- PB139 白金錯体触媒によるアレンインの環化異性化反応および水和を伴う環化反応 (京大院工) 〇門脇 詳・呉屋 剛・松田 学則・村上 正浩
- PB140 白金触媒によるヒドロアリール化反応を用いるポリスチレン類の官能基導入 (佐賀大理工) 〇北村 二雄・橋本 拓也・井口 尚美・小山田 重蔵
- PB141 白金触媒を用いるピロールによるアルキンのヒドロアリール化反応 (佐賀大理工) 〇小山田 重蔵・北村 二雄
- PB142 塩化白金(II)を用いた1,2,4-トリエン類の触媒的環化反応 (東工大院理工) 〇舟見 英哲・草間 博之・岩澤 伸治
- PB143 回収-再利用可能な新規鉄触媒を用いたラジカル重合 (九大先導研・大日本インキ化学工業) 〇甲斐 英知・新林 昭太・早川 均・金 仁華・砂田 祐輔・永島 英夫
- PB144 鉄触媒を用いたハロゲン化アルキルと芳香族亜鉛試薬のクロスカップリング反応 (京大化研) 〇伊藤 慎庫・中村 栄一・中村 正治
- PB145 鉄塩を触媒とする不活性オレフィンへのヘテロ原子導入反応 (広島大院工) 〇米山 公啓・森元 貴之・高木 謙
- PB146 モリブデン触媒不斉メタセシス反応による面不斉フェロセン誘導体の触媒的不斉合成 (北大触セ・SORST・愛教大) 〇小笠原 正道・渡辺 進・中島 清彦・高橋 保
- PB147 ルテニウム錯体触媒を用いる *N*-ビニルアミドとアルケンまたはアルキンとの高選択的共オリゴメリゼーション (京大院工) 〇辻田 寛・浦 康之・松木 伸悟・和田 健司・近藤 輝幸・光藤 武明
- PB148 面不斉シクロペンタジエニルルテニウム触媒によるフェノール類の不斉 *O*-アリル化反応 (阪大産研) 〇奥田 治己・鬼塚 清孝・笹井 宏明
- PB149 ルテニウム錯体触媒を用いるスチレン類の高選択的二量化反応、およびエチレンとの鎖状共二量化反応 (京大院工) 近藤 輝幸・〇高木 大介・辻田 寛・浦康之・光藤 武明
- PB150 ルテニウムカルベン錯体を開始剤として用いる2官能性極性ノルボルネン誘導体のリビング開環メタセシス重合 (岡山大院自然) 西原 康師・〇井上 善彰・高木 謙太郎
- PB151 ルテニウム触媒によるアリルエステルのリニア選択的アリル位アルキル化反応 (鳥取大工) 〇阿多 史朗・和田 祥平・早瀬 修一・川面 基・伊藤 敏幸
- PB152 光学活性ルテニウム触媒による *N*-Boc インドールの触媒的不斉水素化 (九大院理) 〇柏原 学・桑野 良一
- PB153 面不斉アレーン Ru 錯体の動的キラリティー制御と不斉触媒への展開 (東工大院工) 〇海藤 功・相川 光介・三上 幸一
- PB154 ルテニウムクラスター錯体を触媒とする2級アミドの還元反応: ポリメチルヒドロシロキサンをを用いた還元的 *N*-アルキル化による3級アミンの新規合成法 (九大先導研・九大総理工) 〇本山 幸弘・石田 俊樹・花田 汐理・永島 英夫
- PB155 ジアズエステル類とアルケン類の高速触媒的不斉シクロプロパン化反応 (豊橋技科大工) 〇竹本 年秀・西 美紀・柴富 一孝・岩佐 精二
- PB156 新規キラル *P-N-P* 配位子のルテニウム錯体を触媒とするケトンの効率的な不斉還元反応 (阪大院工) 〇大平落 洋二・野口 祐樹・南方 聖司・小松 満男
- PB157 ビリジルホスフィンの配位した二元機能型の新規ルテニウム、イリジウム触媒によるニトリルの水和反応 (岡山大院自然) 〇押木 俊之・奥村 亘・兵頭 功・高井 和彦
- PB158 閉環オレフィンメタセシスを利用した芳香族化合物の合成 (千葉大理) 川越 文裕・〇吉田 和弘・岩楯 展行・高橋 英寿・豊島 武春・成井 倫太郎・今本 恒雄
- PB159 新規ホスフィン-アレーン配位子としてデザインされた(ルテノセニル)ホスフィンの開発と電子のおよび立体的に不活性なハロゲン化アリールとボロン酸との鈴木-宮浦反応への応用 (新潟大工・新潟大院自) 〇星 隆・中澤 太一・鈴木 敏夫・萩原 久大
- PB160 インジウム/ケイ素複合ルイス酸を用いたシリルエーテルとアリルシランとのクロスカップリング反応 (阪大院工・CAMT) 齋藤 隆博・〇西本 能弘・安田 誠・馬場 章夫
- PB161 インジウム触媒を用いた1,3-ジカルボニル化合物誘導体の単純アルキンへのジアステレオ選択的付加による四級不斉炭素中心の構築 (東大院理) 〇藤本 泰典・遠藤 恒平・中村 正治・中村 栄一
- PB162 Ni-InI によるプロパルギルアルコール誘導体とカルボニル化合物との反応 (名工大院工) 〇平下 恒久・辻 浩光・荒木 修喜
- PB163 インジウム触媒による分子内アルキンへのカルボニル化合物の付加を鍵とした中員環合成 (東大院理) 〇山形 憲一・遠藤 恒平・藤本 泰典・中村 正治・中村 栄一
- PB164 高ルイス酸性かご型ホウ酸エステルの合成と触媒活性 (阪大院工・CAMT) 〇吉岡 佐知子・安田 誠・山崎 智・馬場 章夫
- PB165 1,1-ジボリルシクロプロパンの簡便合成とその応用 (京大院工) 清水 正毅・〇下野 勝弘・シェルパー マイケル・長尾 育弘・倉橋 拓也・檜山 爲次郎
- PB166 リチウムアルキリデンカルベノイド中間体を經由する6-ヨード-1-ヘキシンのヨウ素原子移動環化反応 (京工織大工芸) 〇北野 千絵・水梨 健太・原田 俊郎

座長 根東 義則 (14:10~15:00)

- B104 エタノールをヒドリド源とした α, β -不飽和ケトン類の触媒的1,4-還元反応とWarfarinの不斉合成への応用 (理研) 〇土屋 康典・守屋 謙一・クリスティーナ ビーメルマンズ・濱島 義隆・袖岡 幹子

B105 パラジウム触媒による形式的 *o*-キシリレンと親ジェン体との[4+2]環化付加 (九大院理) ○桑野 良一・重 武慶

座長 白川 英二 (15:05~15:55)

B106 炭素-ヘテロ原子結合の触媒的付加反応による多置換複素芳香環化合物の合成 (東北大院理) ○中村 達・水島 祐也・嶋田 朋嘉・山岸 宇一郎・佐藤 太久真・ソン ジュン・今田 さやか・寺田 眞浩・山本 嘉則

B107 マトリックス高分子安定化ナノ白金, ナノパラジウム触媒: アルコールの空気酸化ならびにアルコールを求電子剤としたケトンの α -アルキル化 (分子研・総研大・CREST) ○山田 陽一・荒川 孝保・魚住 泰広

座長 寺田 眞浩 (16:00~17:15)

B108 コバルト触媒を用いたラジカル中間体を經由するグリニャール反応剤とハロゲン化アルキルの交差カップリング反応 (京大院工) ○大宮 寛久・染谷 英紀・依光 英樹・大島 幸一郎

B109 ロジウム(I)触媒による炭素-シアノ基結合切断を経るシリル化反応 (阪大院工) ○鷹巣 守・喜多 祐介・阿野 勇介・茶谷 直人

B110 ロジウムシクロブタノラトからの β 炭素脱離を経由する炭素骨格構築 (京大院工) ○松田 学則・牧野 雅臣・重野 真徳・村上 正浩

座長 武田 猛 (17:20~18:35)

B111 イリジウム触媒による酸化的二量化反応、Tishchenko 反応、不斉酸化反応 (阪大産研) ○鈴木 健之・マング ナビーン・山田 太郎・松尾 智仁・渡辺 一弘・加藤 正・笹井 宏明

B112 鉄/銅協同触媒を用いるアルキンのアリールマグネシウム化 (京大院理) ○白川 英二・山上 高史・木村 隆弘・山口 滋・池田 大次・林 民生

B113 Cp*Ru(PN)錯体触媒を用いた非対称ジオール類の位置選択的ラクトン化反応 (東工大院理工) ○伊藤 正人・椎橋 彬・碓屋 隆雄

第2日目 [9月9日(土)]

座長 杉野目 道紀 (9:00~10:15)

B201 ルテニウム触媒を用いたプロパルギルアルコールとアニリンとの反応: 三置換共役エンイン化合物の新規合成法の開発 (東大院工・青学大理工) ○山内 禎啓・小野寺 玄・三宅 由寛・西林 仁昭

B202 ルテニウムヒドリド触媒による不飽和ケトンとアルデヒドとのクロスカップリング反応による1,3-ジケトンの合成 (阪府大院理) ○大村 倉平・土井 貴史・南野 智史・福山 高英・柳 日馨

B203 ルテニウム触媒によるエニンの環化反応; アルキン上の置換基の効果 (北大院薬・北医療大薬) ○田中 大輔・森 美和子・佐藤 美洋

ポスター・ショートトーク (10:15~12:22)

座長 西林 仁昭 (10:15~11:20)

座長 佐藤 美洋 (11:20~12:22)

ポスター発表 (12:30~14:00)

PB201 金錯体触媒による形式的な Sila-Cope 反応 (カリフォルニア大学バークレー校) ○堀野 良和・トステイーン

PB202 空気雰囲気下金ナノクラスターを触媒として用いるアルケンの分子内ヒドロアルコキシル化反応 (分子研) ○神谷 育代・角山 寛規・佃 達哉・櫻井 英博

PB203 銅触媒存在下 1-アルキルホスフィンのヒドロホスフィン化による(Z)-1,2-ジホスフィノ-1-アルケンの合成 (京大院工) ○近藤 梓・依光 英樹・大島 幸一郎

PB204 銅触媒によるジアリールジスルフィドと有機ボロン酸を用いた非対称スルフィド化合物の合成 (福島医大化学) ○谷口 暢一

PB205 銅触媒を用いるチオアミドの酸化的脱硫環化によるアザインドリジン合成とその蛍光特性 (岐阜大工) 芝原 文利・○亀井 明果・山口 英二・村井 利昭

PB206 カルボニルエンニトリル化合物と求核剤を用いる銅触媒 γ -ラクタム合成 (京大院工) ○村井 征史・三木 康嗣・大江 浩一

PB207 ベンゾキノンを用いる Lipshutz クプラートの電子移動酸化の機構 (首都大院理工) ○ラーマン Md. ジャリル・呉 墨・伊与田 正彦

PB208 光学活性アミノヒドロキシホスフィン配位子を用いた銅触媒による有機亜鉛試薬の不斉共役付加反応 (東大院理) ○吉戒 直彦・ハジユラ アラカナンダ・中村 栄一

PB209 ロジウム触媒を用いるケトン、イミン、およびニトリルのアリールホウ素化合物によるアリール化 (阪大院工) ○佐藤 哲也・上浦 健司・宮村 佐和子・三浦 雅博

PB210 ロジウム触媒による水中でのカルボメタル化-ヘック反応による完全分子間3成分結合反応 (京大院工) ○倉橋 拓也・忍久保 洋・大須賀 篤弘

PB211 ロジウム(I)-キラホス系錯体を触媒とした β -アリール- α , β -不飽和ケトンやエステルに対するアリールボロン酸の1,4-付加反応 (北大院工) 西形 孝司・井山 哲二・田地川 浩人・○小林 有里・山本 靖典・宮浦 憲夫

PB212 ロジウム錯体触媒による金属亜鉛と水を用いたオレフィン類の水素化反応 (東北大院工) ○佐藤 崇・渡部 翔之・大井 秀一・井上 祥雄

PB213 ビニルカルベン等価体によるオレフィン類のビニルシクロプロパン化反応 (京大院工) ○三浦 智也・佐々木 太亮・春増 達郎・村上 正浩

PB214 塩化ロジウム/アミン触媒を用いる内部アルキンの三量化反応 (岡山大院工) ○吉田 健太・光藤 耕一・田中 秀雄

PB215 ロジウム錯体触媒によるプロパルギルアルコールの異性化反応 (東農工大院工) ○庄子 武明・田中 健

PB216 ロジウム錯体触媒を用いた[2+2+2]付加環化反応による含窒素ヘテロ環化合物の合成 (東農工大院工) ○和田 梓・鈴木 七実・田中 健

PB217 ロジウム錯体触媒を用いた連続芳香環構築によるオルト四置換軸不斉ビアールのエナンチオ選択的合成 (東農工大院工) ○西田 剛土・田中 健

PB218 イオン性液体中での Rh(I)錯体による分子内ヒドロアルシル化反応の検討 (北大院薬) ○大西 英博・小倉 次郎・佐藤 美洋

PB219 ロジウムカルベン錯体を鍵中間体とする π 共役系分子の合成 (京大院工) ○安保 友博・三木 康嗣・大江 浩一

PB220 ビス(オキサゾリニル)フェニル-ロジウムおよびイリジウム錯体の合成と不斉触媒反応への応用 (名大院工) ○塩見 拓史・伊藤 淳一・西山 久雄

- PB221 ロジウム触媒を用いるカルバゾール類のトリエトキシシランとのジシリル化反応 (奈良高専物化工・豊田中研) ○嶋田 豊司・前川 佳史・後藤 康友・稲垣 伸二
- PB222 光学活性ジホスフィン配位子を有するロジウム錯体によるエノンの不斉水素化反応 (阪大院基礎工) ○唯岡 弘・大嶋 孝志・山縣 恒明・堀 清人・佐用 昇・真島 和志
- PB223 2-(ヒドロキシメチル)フェニル基置換有機ケイ素反応剤のロジウム触媒カルボニル付加反応 (京大院工) 中尾 佳亮・○陳 金水・今中 秀和・檜山 爲次郎
- PB224 ロジウムを触媒とするジフェニルホスフィニルアレンの不斉ヒドロアリール化反応 (京大院理) ○西村 貴洋・平林 祥・安原 祐一・林 民生
- PB225 かご型トリアルキルホスフィン SMAP のシリカゲル担持と Rh 触媒ヒドロシリル化反応への応用 (北大院理) ○浜坂 剛・落田 温子・宮原 崇泰・澤村 正也
- PB226 ロジウム触媒を用いた有機ボロン酸の不斉付加反応による 4 級不斉中心の立体選択的構築 (京大院理) ○新谷 亮・段 偉良・井上 光憲・林 民生
- PB227 2-イミノメチルピリジンあるいはジフォスフィン/MX_n-n/Zn (M = Fe, Co, Ni) を触媒とするアルキンの環化異性化反応 (神奈川大工) ○岡本 専太郎・ゴスワミ オビジット・才野 直子・加瀬 幸喜
- PB228 CoCl₂-6H₂O/dppe/Zn を触媒とするアルキンとニトリルの環化付加によるピリジンの生成 (神奈川大工) ○加瀬 幸喜・田邊 恵美・ゴスワミ オビジット・岡本 専太郎
- PB229 アセチルコバルト錯体を開始剤とするオキセタンと一酸化炭素の共重合 (東大院工) ○ベルマナ イエッシン・中野 幸司・野崎 京子
- PB230 コバルト 触媒による β-ケトエステルのエナンチオ選択的 α 位フッ素化反応 (鳥取大工) ○小松 悠史・早瀬 修一・川面 基・伊藤 敏幸
- PB231 オキサゾリジノン骨格を有する新規光学活性ホスホラアミダイトを配位子としたイリジウム錯体触媒による不斉アリル位アルキル化反応 (青山学院大理工) ○小野寺 玄・渡部 敬二郎・川口 泰・藤川 武・毛塚 智子・武内 亮
- PB232 ビホスフィニン配位子を持つイリジウム触媒を用いる 1-アルキンの選択的ヒドロシリル化反応 (首都大院理工) ○磯村 英吾・三宅 由寛・伊与田 正彦
- PB233 Ir 錯体触媒を用いたケトンとアルコールの反応による種々のケトン類の合成 (関西大工) ○前田 憲作・坂口 聡・大洞 康嗣・石井 康敬
- PB234 イリジウム触媒を用いたアリル位エーテル化反応とその応用 (上智大理工) ○増山 亮介・増山 芳郎
- PB235 有機金属触媒反応を用いた新規コロール誘導体の合成と物性 (京大院理・CREST・PRESTO) ○廣戸 聡・忍久保 洋・大須賀 篤弘
- PB236 塩化スズ(II)を用いるアリルエーテル類によるイリジウム触媒カルボニル-アリル化反応 (上智大理工) ○丸川 賢範・増山 芳郎
- PB237 Cp*イリジウム錯体触媒を用いる酸化剤不要のアルコール酸化反応 (京大人環) ○藤田 健一・谷野 順英・山口 良平
- PB238 Ti(O-*i*-Pr)₄/TMSCl/Mg あるいは Ti(O-*i*-Pr)₄/MgBr₂/Mg より発生する低原子価チタンの反応性 (神奈川大工) ○大久保 睦美・望月 彩加・松野 千加士・岡本 専太郎
- PB239 四ヨウ化チタンの還元力を用いる新規炭素-炭素結合生成反応 (三重大院工) ○八谷 巖・田中 光恵・豊田 忠宏・馬場 徹・伊藤 智大・清水 真
- PB240 ジルコノセン錯体による環化付加反応を用いたナフタセン、およびペンタセン誘導体の合成 (北大触セ・SORST) ○李 石・菅野 研一郎・高橋 保
- PB241 アレーンクロム錯体を利用するかさ高いホスフィン類の合成 (徳島文理大香川薬・千葉大理) ○山本 嘉一・小泉 徹・片桐 幸輔・檀上 博史・今本 恒雄・山口 健太郎
- PB242 (アレーン)トリカルボニルクロムを有するホスファールケンへのチオラートアニオンの付加反応 (阪市大院工) 南 達哉・○川北 紗世子・岸 直人・畠中 康夫
- PB243 Ni 触媒を用いるアルケニル Fischer カルベン錯体とメチレンシクロプロパンとの[3+1+1]型環化付加反応 (阪府大院理) ○神川 憲・清水 保典・竹本 真・松坂 裕之
- PB244 パナジウム触媒を用いる炭素-炭素二重結合の酸素酸化反応 (阪府大院工) ○上田 幸弘・野元 昭宏・園田 素啓・小川 昭弥
- PB245 低原子価チタンおよびニオブ-アルキンを反応試剤として用いるクロスカップリング反応 (関西大工・北大触媒セ) ○大洞 康嗣・木村 昌寛・森谷 浩幸・大竹 敏之・竹下 敬祐・多田 裕亮・徳永 信・辻 康之・石井 康敬
- PB246 Mo-Si 錯体を触媒とするアリルアルコールの中性条件下における求核置換反応 (横浜国大院工) ○湊 盟・和田 直人・栢沼 優二・勝連 健文
- PB247 モリブデン(0)カルボニル錯体によるオルト-ヨードベンズアルジミン類のカルボニル化環化反応 (東大院理工) ○三宮 健一郎・鷹谷 絢・岩澤 伸治
- PB248 リビング開環メタセシス重合を利用した糖鎖ポリマーの精密集積化と特性解析 (奈良先端大物質) ○野村 琴広・マーフィー ジェームズ・古庄 公寿・藤木 道也
- PB249 レニウム触媒を用いる C-H 結合へのアルデヒドの挿入; イソベンゾフラン誘導体の合成 (岡山大院自然) ○仁科 勇太・仲川 智恵・國信 洋一郎・高井 和彦
- PB250 レニウム触媒による活性メチレン化合物の末端アセチレンへの付加反応 (岡山大院自然) ○川田 篤志・國信 洋一郎・高井 和彦
- PB251 低原子価希土類を用いる二酸化炭素の光活性化に基づくハロアルカンのカルボキシル化反応 (阪府大院工) ○小城 優相・野元 昭宏・園田 素啓・小川 昭弥
- PB252 チオールによる有機ヘテロ元素化合物の選択的な還元反応 (阪市大院理・京大化研) ○松本 篤・山子 茂
- PB253 イリジウム触媒を用いた 1-ヒドロシトランによるアレーン類の直接ケイ素化反応 (北大院工) ○岸田 恵美・齋木 文章・石山 竜生・宮浦 憲夫
- PB254 1-シリルシクロプロピルメタノール類の酸触媒反応挙動 (金沢大院自然) ○本田 光典・三田 孝仁・西沢 寿晃・千木 昌人
- PB255 ケイ素鎖で連結したスチルバゾール誘導体の分子内光付加環化反応 (阪府大院工) ○前多 肇・平鍋 隆一郎・水野 一彦
- PB256 アラインの炭素-ハロゲン σ-結合への挿入反応 (広島大院工) 吉田 拓人・○三村 康寛・大下 浄治・九内 淳堯

- PB257 アライン、アミノシランおよびアルデヒドの三成分連結反応 (広島大院工) 吉田 拓人・○森下 隆実・大下 浄治・九内 淳堯
- PB258 ジスタナンを促進剤とするカチオンプールとハロゲン化アルキルの反応 (京大院工) ○丸山 友和・菅誠治・吉田 潤一
- PB259 カチオン性ロジウム錯体触媒を用いる α, β -不飽和カルボニル化合物のヒドロシリル化によるシリルエノールエーテルの立体選択的合成 (青山学院大理工) ○小野寺 玄・蜂須賀 良祐・毛塚 智子・武内 亮
- PB260 アルデヒドおよびイミンと不斉アリルスズとの1,4-遠隔不斉誘導反応 (島根大総合理工) ○藤本 隆浩・西垣内 寛・宅和 暁男
- PB261 スズ-酸複合触媒による二酸化炭素とメタノールからの炭酸ジメチルの合成 (産総研) ○高野 一史・崔準哲・安田 弘之・坂倉 俊康
- PB262 トリメチルスズリチウムを用いるアセチレンの高選択的ヒドロスタニル化反応 (崇城大工) 池永 和敏・西岡 礼翔
- PB263 新規キラルスズ触媒の合成および不斉アルドール反応への応用 (千葉大 VBL・千葉大院自然・千葉大理) ○田中 陽一・宮城 雅彦・荒井 孝義・柳澤 章
- PB264 新規亜鉛四核クラスター触媒を用いたカルボン酸、エステル、ラクトンからのオキサゾリンへの直接変換反応の開発 (阪大院基礎工) ○岩崎 孝紀・大嶋 孝志・真島 和志
- PB265 グリニャール試薬と塩化亜鉛触媒によるケトンの効率的アルキル化反応 (名大院工) ○波多野 学・鈴木 伸治・石原 一彰
- PB266 新規な三座配位シッフ塩基配位子を用いた触媒的不斉アルキル化反応 (神戸大理) ○田中 孝徳・安田 順信・林 昌彦

座長 笹井 宏明 (14:10~15:00)

- B204 γ -クロロアリルスルフィドと2価チタノセンとの反応によるチタナシクロブテンの位置選択的な合成 (東農工大院工) ○荘野 智宏・蔵重 理恵・向山 諒・坪内 彰・武田 猛
- B205 イットリウム試薬を用いる新規合成反応の開発 (東工大生命理工) ○占部 弘和・秦 猛志・棧敷 博明・田中 亮一

座長 魚住 泰広 (15:05~15:55)

- B206 白金触媒によるアルケンの立体選択的分子内シリルホウ素化 (京大院工) ○大村 智通・古川 英紀・杉野目 道紀
- B207 パラジウム触媒によるアリルトリフルオロホウ酸塩と芳香族およびビニル型臭化物との γ -選択的カップリング反応 (北大院工) ○山本 靖典・高田 慎吾・宮浦 憲夫

座長 占部 弘和 (16:00~17:15)

- B208 ロジウム触媒を用いるアリール及びアルケニルホウ酸エステルのカルボキシル化反応 (東工大理工) ○鶴飼 和利・只見 聡・青木 昌雄・鷹谷 絢・岩澤 伸治
- B209 1,3-ジエンのヒドロインデーションを利用したワンポットアリル化反応 (阪大院工・阪大環境安全セ) ○林 直樹・本多 博幸・安田 誠・芝田 育也・馬場 章夫
- B210 有機ビスマス化合物を用いるリビングラジカル重合の開発 (京大化研・阪市大院理) ○山子 茂・小谷 真志・レイ ビスワジット・茅原 栄一

参加登録費 (予稿集代を含む)

予約 (8月9日(水)まで) :
一般 7,000 円, 学生 4,000 円
当日 : 一般 8,000 円, 学生 5,000 円

懇親会 9月8日(金) 18時45分~20時30分
於: 生協教養食堂 (大学内)
会費: 5,000 円

参加登録予約申込方法 必ず郵便振替 (口座番号 00910-2-94367 有機金属化学討論会) をご利用下さい。通信欄に, 1) 氏名 (連記可), 2) 勤務先・職名 (または学校・学科・講座名), 3) 懇親会参加不参加の区別, 4) 連絡先 (郵便番号・住所・電話番号・FAX番号) を明記の上, 参加登録費 (懇親会費) を添えてお申し込み下さい。8月9日(水)以降は当日会場受付 (全学共通教育棟) にてお申し込み下さい。

申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4
近畿化学協会 有機金属化学討論会係
電話 (06)6441-5531 FAX (06)6443-6685